

わかば

2019. 3. 23
第18-45号
文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

重点目標 一人一人が輝く教育 ～期待登校・満足下校～

お礼 1年間、ご支援ありがとうございました。…「不易と流行」を目指す2019年度に向けて

教育には、「不易と流行（ふえきとりゅうこう）」があります。「不易」とは、いつの時代であっても変わらないものです。「流行」とは、時代とともに変わっていくものです。

教育の不易は「児童生徒愛」「学力」だと思います。子どもたちへの深い愛情であり、教員であれば「教育愛」「指導する目的」と言えるでしょう。

教育の流行は、例えば、「ゆとり教育」「確かな学力」「総合的な学習の時間」など、その時代の教育を表すキーワードでもあります。

これからの教育の「流行」のキーワードは、「主体的・対話的で深い学び」「アクティブラーニング」ではないでしょうか。【裏面の資料をご参照ください】

「流行」の文字を使うと、何となく軽く感じますが、日本国内の教育は、不易である児童生徒への愛情を根拠にして、「主体的・対話的で深い学び」を具体化する努力をしています。

本校の「不易と流行」をどのように図っていくかは、43号で一部ご紹介しています。次年度のわかばで、継続して紹介できればと願っています。

本年度の本校へのご支援とご協力に感謝申し上げます。2019年度もよろしくお願いいたします。



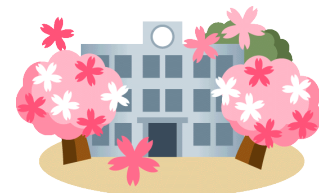
2019年度 最初の登校日、4月13日(土)の日程です。…また、元気にお会いしましょう!

2019年度の最初の登校日である4月13日(土)の日程を紹介します。なお、同日は、入園式 入学式があります。

【小・中・高等部】

9:00	登校
9:00～ 9:10	朝の会
9:15～ 9:30	始業式(担任発表)
9:40～ 10:30	入学式
10:30～ 11:00	学級活動(教科書配布)
11:10～ 12:00	第3校時
12:00～ 12:50	昼休み

※学年学級の札のあるテーブルで昼食です。



【幼稚部】

13:30～14:00	入園式
14:00～14:30	活動
14:30	下校

【小学部】

12:50～13:00	10分読書
13:00～13:50	第4校時
13:55～14:45	第5校時
14:45～15:05	ホームルーム
15:05	下校

【中・高等部】

12:50～13:40	第4校時
13:50～14:40	第5校時
14:40～15:00	ホームルーム
15:00	下校

主体的・対話的で深い学びの実現 (「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善) について (イメージ)

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的(アクティブ)に学び続けるようにすること

【主体的な学び】

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているか。

【例】

- 学ぶことに興味や関心を持ち、毎時間、見通しを持って粘り強く取り組むとともに、自らの学習をまとめ振り返り、次の学習につなげる
- 「キャリア・パスポート(仮称)」などを活用し、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりする



主体的な学び
 対話的な学び
 深い学び

学びを人生や社会に
 生かそうとする
 学びに向かう力・
 人間性等の涵養

生きて働く
 知識・技能の
 習得

未知の状況にも
 対応できる
 思考力・判断力・表現力
 等の育成



【対話的な学び】

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているか。

【例】

- 実社会で働く人々が連携・協働して社会に見られる課題を解決している姿を調べたり、実社会の人々の話を聞いたりすることで自らの考えを広げる
- あらかじめ個人で考えたことを、意見交換したり、議論したり、することで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりする
- 子供同士の対話に加え、子供と教員、子供と地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図る



【深い学び】

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているか。

【例】

- 事象の中から自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決を行う探究の過程に取り組む
- 精査した情報を基に自分の考えを形成したり、目的や場面、状況等に応じて伝え合ったり、考えを伝え合うことを通して集団としての考えを形成したりしていく
- 感性を働かせて、思いや考えを基に、豊かに意味や価値を創造していく